

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月12日

【評価実施概要】

事業所番号	1270800970		
法人名	スターツケア株式会社		
事業所名	グループホームきらら市川妙典		
所在地	千葉県市川市塩焼4-14-22 (電話)047-300-3788		
評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成21年1月22日	評価確定日	平成21年3月4日

【情報提供票より】(平成21年1月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年11月20日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	27人	常勤11人, 非常勤16人,	常勤換算22.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り (3階建ての1・2・3階部分)
------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	80,000円	その他の経費(月額)	39,500円	
敷金	有(300,000円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	500円	昼食	500円
	夕食	500円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(1月10日現在)

利用者人数	24名	男性	8名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2	7名		
要介護3	8名	要介護4	5名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	68歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	行徳中央病院、マミー歯科クリニック
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

東西線市川妙典駅から徒歩13分と交通の便の良い、しかも静かな住宅街に立地している。グループホーム用に建てられたマンションタイプで、共用スペースも広く、日当たりも良く、全館にスプリンクラーを設置するなど安全面も配慮された建物である。「人が、心が、すべて」との法人の基本理念の下、入居者が「希望を持ち、生き生きと輝いている」安心して日々の暮らしのできるケアサービスの提供に努めると共に、地域に開かれたグループホームにすることを目指している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 昨年、改善の指摘のあった「職員の育成、多機能性の活用、受診支援」については改善が見られた。特に職員の育成については、法人が新設した他のホームに管理者を多く輩出している。新入職員のOJTを通じたスキルの向上への工夫も見られる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 新ホーム長と各ユニットリーダーが第三者の目を見ていただく外部評価の意義を話し合った。評価を受けるに当たり、自己評価票を各職員に見せ、リーダーと職員が一緒になり自己評価をした。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 昨年2回開催、特に6月22日には家族会を兼ねて「運営と今後の可能性・地域住民との交流」などを議題として運営推進会議を行った。自治会長、包括支援センター職員、家族が出席。自治会長から行事の紹介、家族から職員の異動についてなど多くの意見が出たが、その後開催できず、会議をサービスの向上などに活かすまでには至っていない。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 年2回家族懇談会を開き、ご家族にお話いただくことを大切に、頂いたご意見は全職員に伝達し、謙虚に耳を傾け対応するようにしている。又、法人として毎年アンケート調査をしており、部屋の埃とかメニューが若者向きだとかのご指摘などには直ぐに対応するようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域との関りの重要性の認識は高い。自治会長のホームへの理解もあり、敬老会や夏祭りにきららの席を設けていただき利用者や職員が参加している。当ホームを秋祭りの神輿の休憩場所に利用していただいたり、認知症や介護についての相談を受けることも多く、双方向の関係も築けている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人が、心が、すべて」との法人の基本理念の下、入居者が「希望を持ち、生き生きと輝いている」安心して日々の暮らしのできる、地域に開かれたグループホームにすることを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットに基本理念・運営方針を掲示している。各種研修時やユニット会議時に常に理念・方針の共有を図っている。その人らしく生き生きとした日々の暮らしが出来るよう日々のケアに努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との関りの重要性の認識は高い。自治会長のホームへの理解もあり、敬老会や夏祭りにさららの席を設けていただき利用者と職員が参加している。当ホームを秋祭りの神輿の休憩場所に利用していただいたり、認知症や介護についての相談を受けることも多く双方向の関係も築けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の評価結果をユニットごとに話し合った。改善の指摘のあった「職員の育成、多機能性の活用、受診支援」については改善が見られた。特に職員の育成については、法人が新設した他のホームに管理者を多く輩出している。新入職員のOJTを通じたスキルの向上への工夫も見られる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>6月22日に家族会を兼ねて「運営と今後の可能性・地域住民との交流」などを議題として運営推進会議を行った。自治会長、包括支援センター職員、家族が出席。自治会長から行事の紹介などがあった。その後開催できてなく、会議を活かすまでには至っていない。</p>		<p>新ホーム長は運営推進会議を定期的開催したいとしている。自治会長や近隣の学校の理解もあるのだから、評価結果の報告をしてモニター役として活用したり、地域防災なども議題として災害時の地域協力を依頼するなど活用することを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターの方とは、よく連絡をし色々相談に乗って頂いている。市の介護保険課にも年3回は行き、報告をしたり相談をしており、新しい入居者を紹介していただいたりしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時は勿論、毎月一度請求書と共に、写真やお手紙でホームでの生活状況や健康状態などを報告している。変化のあったときは随時電話で報告する。金銭出納帳写しも送付し確認いただいている。</p>		<p>きらら通信を活用して、家族から要望の多い職員の異動や新任職員の紹介など木目細かい報告を工夫すると共に、面会時にはケア記録を活用し、家族とサービス内容を共有することを期待したい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年2回家族懇談会をし、ご家族にお話いただくことを大切に、頂いたご意見は全職員に伝達し、謙虚に耳を傾け対応するようにしている。又、年1回アンケート調査があり、部屋の埃とかメニューが若者向きだとのご指摘などにも直ぐに対応している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者も含め職員の異動がかなりあった。新入職員については約1ヶ月間OJTシートを活用しリーダーが中心となって少しでも早く利用者へ馴染めるよう指導している。又、他の職員が間に入り、ダメージを防ぐ配慮もしているが十分とは言えないこともあった。</p>		<p>運営者は、スキルアップと職責と処遇のため異動は必要との考えである。利用者本位のケア実現の為に馴染みの関係は大切であり、異動を必要最小限にする努力を期待するとともに、交代する場合のダメージを防ぐ工夫をすることが望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新卒者研修、中途者研修、スキルアップ研修、リーダー研修、ホーム長研修と段階に応じた社内研修は充実している。毎月テーマを決めて実施されるリーダー研修の内容はユニット会議で職員に伝達される。外部研修受講制度もあり研修受講者が報告し職員同士で研修内容を共有している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市川市のグループホーム連絡協議会に加入しホーム長とケアマネが参加している。法人が運営する10箇所のグループホームのリーダーが事例検討会など相互研修をし質の向上に取り組んでいる。年1回職員懇親会があり職員同士の交流も図られている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人に家族と一緒にホームに来てお茶を飲んだりレクレーションをするなど少しでも馴染んでから入居していただく。家族から入手した多くの情報を理解しておく。特に1週間から1ヶ月は本人の会話、動作を良く観察し思っていることを気付くようにしし、安心の場であることを感じていただけるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>料理・裁縫・洗濯など利用者には出来ることは何でもしていただき、職員は裏方に徹する意識を持って過ごしている。クリスマス会で長唄を披露したりお茶の先生がお茶を点てたり、職員が着付けを習ったりしている。捨てられたと言って悲しむ利用者に私が娘だよと一緒に泣いたこともある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>各職員が常日頃から入居者の表情・言葉・行動を良く観察し、入居者の思いや意向をくみ取ろうと努力している。センター方式を活用し、希望、意向などをどしどし書き込み、その人らしいありかたの思いや意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用し、利用者、家族から多くの情報を入手すると共に、各職員が日々の行動やちょっとした一言から課題やケアのあり方などを話し合い、チームで介護計画を作成している。丁寧にその人らしいありかたについて、介護計画に反映されており、好印象を抱ける。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリングは毎月やっている。状態が変わったら、モニタリングをして、アセスメントを行い、介護計画の見直しをしている。毎月ユニット会議で入居者の状態をチェックして、状態の変化を討議し、介護計画作成者が現状に即した介護計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>デイサービスやショートステイ利用受入は行わない方針である。冠婚葬祭時等、一緒に介助して、連れていく、本人が希望したら、温泉旅行なども職員同伴で旅行に行くなど、本人のニーズに合わせたサービスをおこなっている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>毎月2回、決まった医師が往診にやってきて、入居者と顔なじみになっている。受診結果はユニット日誌、介護記録に記入し共有している。受診結果については、家族と情報共有に努めている。往診医以外にも本人や家族の希望があれば、通院介助をし、受診している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期対応は行っていないが、入居時には退去要件について丁寧な説明を行うよう心掛け理解していただくようにしている。入居時に特養入居申込みを勧めているという。この考えに沿って入院等について、家族や往診医と相談し対処している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉遣いに気をつけている。個人の尊厳やプライバシーを損ねるような言葉かけや対応については、常に配慮するよう周知徹底に努めている。電子媒体のセキュティーも万全でパスワード管理をし、職責によって見れる書類を限定する等、個人情報管理を徹底しており、好印象が抱ける。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その人の望むペースや趣味を生かした生活の質の向上に関する取組みは、本人に合わせた、生活リズムになっている。起床時間や就寝時間などその人の希望に合わせた時間に設定している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を作る時に旬のメニューを取り入れている。入居者が一緒に参加して、買い物、調理、後片付けなどをし、食事を楽しんでいる。「食の安全性」に配慮し、無農薬野菜や地産地消をめざしている。「食の安全性」に対する、考え方は非常に好印象である。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日、時間帯は入居者が自由に選べる。浴室の鍵も掛かりプライバシー保護に配慮している。入浴時にはCDを持ち込み好きな音楽を聞くなど、リラックスして、入浴が楽しめる工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の趣味や生活歴を一日のなかに組み入れて、午後の時間は自由にしている。将棋の好きな方は対局相手を他のユニットから探したり、お茶をたてるのが趣味な方は3時のおやつのお茶をたてたりと楽しみのある時間にしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の機会は毎日の散歩や買い物が中心である。介助が必要な度合いによっては交代で機会を設けるなどし、公園やスーパー・園芸店等に買い物に行く。近くの川辺でバーベキューをやったり、お弁当を持って、動物園やバラ園などにも行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は公道に面しているため、交通事故防止のためと他の侵入者が施設内に入らないように安全面からも施錠している。ユニット内は鍵はかけておらず、各階、各ユニットを自由に移動できる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署と連携し、消火器の扱い方など消防訓練、消防通報、初期消火の訓練をしている。各室にはスプリングクラーが設置されカーテンも防災用のカーテンを使用している。水・食料なども3日分備蓄している。</p>		<p>災害時における地域との連携は大変重要であり、今後、運営推進会議を活用したり、消防署の助言を得ながら地域住民、行政との相互協力関係づくりへの取り組みを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取を記録し、各ユニットリーダーがチェックを行う。栄養バランスに気をつけ、朝は牛乳、3時のおやつにはヨーグルトと野菜ジュースを出すようにしている。ビタミン、タンパク質、カルシウム、ミネラルなどバランス良く、栄養が取れるように努力している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは広く、採光も明るく、自然と利用者が集まってくる雰囲気が生み出されており、落ち着いた時間の流れを感じることができた。音楽なども流れ、各々入居者がくつろげる感じがする。</p>		<p>共用の空間には無用の飾りつけなどもなく落ち着いてくつろげる空間になっているが、お花を飾るなどもう少し季節感を採り入れる工夫をすることも期待したい。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室に持ち込む家具の制限はしていないので、使い慣れたベッド、使い慣れた家具などが置かれている。思い出のある写真、本なども自由に居室に置かれている。カーテンなども選べる。それぞれ個人の好みや慣れ親しんだ家庭での生活に配慮した工夫をしている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。